

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	放課後等デイサービスぱぶりか		公表日			
			年	月	日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		・利用者の人数を見ながら、グループ分けをして、スペースの確保をしています。	・適切であると思うが、もう少し広い方が個別活動をしやすいと思います。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		・シフト作成の段階で4~5人体制になるよう組んでいます。個別活動できる人数を組めるよう工夫しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		・定員数が増えてきたので、活動スペースを拡げ机上活動がスムーズにできるよう配慮しています。 ・宿題を行なうために、一人用の机を複数準備しています。 ・カーテンで仕切れるスペースを設置し、活動しています。	・多少の段差があり、転倒の可能性があるので気をつけています。 ・聴覚過敏の利用者や、不穏時の利用者が支援者と共に落ち着いて過ごせる部屋が少ないと思います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		・毎日清掃、整理整頓を行っています。また、今年は子供たちが座って活動できるよう、一室にジョイントマットを敷き対応しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		・個別な部屋はありませんが、本人の希望があれば、カーテンで仕切り個別対応を行なっています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		・職員間で意見を出しやすい環境作りを行なっています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・評価後、話し合いを設け、改善に向けた話し合いを行なっています。 ・HPに保護者向け自己評価の公表を行なっています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・会議で意見を出し合い、改善に努めています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・2023年4月、第三者評価を受け、HPに公表しています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		・外部研修、法人研修、事業所内研修等参加しています。また、受講したい研修等は管理者との面談の際に話をしていきます。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		・今年、5領域を入れた支援プログラムを職員で考え、作成しました。	・今後、定期的に見直し、更新していきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		・一人一人のアセスメントをしっかりと行い、強みや課題を職員が把握し支援計画を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		・児発管の主観にならないよう、現場の意見を取り入れ計画を作成しています。	もう一度職員全体が、5領域について学ぶ機会を作り、意見を出し合えるようしていきます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		・計画を共有し、職員が同じ支援ができるよう努めています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>			・標準化されたツールは使用していません。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		・ガイドラインに沿って、それぞれの児童に適切な支援の優先順位をつけて、具体的な支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		・月初めに係を中心に活動を組んでいます。各職員からや提案を基に、まとめてプログラムを作成しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		・1年間の月案等見ながら、固定化されない工夫をしています。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・児童の実態に合わせ、集団行活動、個別活動を取り入れています。それぞれ、意図を持った活動を提供しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・支援前に必ず打合せを行い、職員が活動や流れを把握できるようにしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・みんなで話し合いは行なうことが難しいため、記録としてに何が良かったか残すようにしています。	・支援終了後では、送り出しや児童がいるため難しいので、翌日に共有しています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・細かく記録を残すよう話を進めています。	・活動の記録にならないよう、その日の体調面、情緒面も細かく書くよう今にしています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・定期的にモニタリングを実施し、適切な支援計画の見直しを行なっています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			・意識して支援を行っていますが、会議等で読み合わせを行ない、より職員が意識して支援できるよう工夫していきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・児童の意思を尊重し、自主性を育てられるような支援を行なっています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・基本、児発管が参加しています。現場からの意見を聞き、まとめて会議に参加しています。	・今後は児発管だけでなく、現場の職員も会議に出れるよう検討していきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			・必要に応じて適切に連携を取っています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・月の行事計画や、週報を見ながら迎えの間違いないようにしています。また、わからない場合は学校や保護者へ確認を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・同法人での連携を多く図ってきました。また、必要に応じては移行シートを参考にしています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			・移行支援会議に参加できていないため、今後機会があればぜひ参加したいです。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			・できていないため、今後機会があれば参加し、助言やアドバイスを頂けたらと思います。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		・児童クラブへの送迎は行なっていますが、交流まではいきませんでした。今後前向きに検討します。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○		・参加できていません。機会があれば積極的に参加していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・送り出し時に伝えています。また、保護者からも様子を伺い共有に努めています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・家族のつどいを年に1~2回開催しています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・児発管より、契約時に丁寧に説明を行なっています。また、運営規定や重要事項説明書等は玄関入口に掲示しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・児童とも面談を行ない、ニーズを反映させています。保護者とは計画作成に当たる面談で意向を聞いています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・放課後等デイサービスの計画に基づいた支援内容を説明し、同意を頂いています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・保護者から要望などある場合は、都度面談に応じています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		年に2回、家族の集いを開催しています。事前に保護者へどのような内容が良いかアンケートを取り、内容を職員で検討しています。	・兄弟時の集まりは開催していないため、今後、検討していきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・苦情があった際は、職員同士で共有、話し合いの元、迅速に対応しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		・定期的にInstagramを更新して、活動の内容、様子等を皆さんに周知しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・個人情報同意書に基づいて、取り扱いを行なっています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・児童の理解度に合わせた意思伝達を行なっています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		・コロナ禍以降、行事等の招待は行なっていませんが、機会があれば検討したいと思っています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・保護者も見れるように、玄関に掲示しています。	・掲示はしていますが、発生した訓練は行っていないため、研修などに取り入れ実施できるようにしていきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・毎月地震、火災を想定した避難訓練を行なっています。実際に災害が起きても対応できるよう、緊張感を持って取り組んでいます。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		・聞き取り票に記入してもらい、服薬がある場合は、毎回投薬シートへ記入してもらっています。また、必要に応じて聞き取りも行なっています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・聞き取り票を元に、アレルギーの有無を確認をしています。また、学園で給食提供の児童は栄養士と連携を取るよう努めています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・毎月の会議で安全計画を確認し、その都度必要な訓練、管理を行なっています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・入口の見える場所へ掲示を行なっています。	掲示はしていますが、説明は行なっていません。今後周知の仕方を検討していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・事故等対策委員会に放デイの職員も参加し、部署内で共有しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		係が虐待防止委員会への参加、その後会議で話があった事を伝えている。また、全体会などでも周知している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		事業所に身体拘束等適正委員会を設置し、全体会などで周知を図っています。		